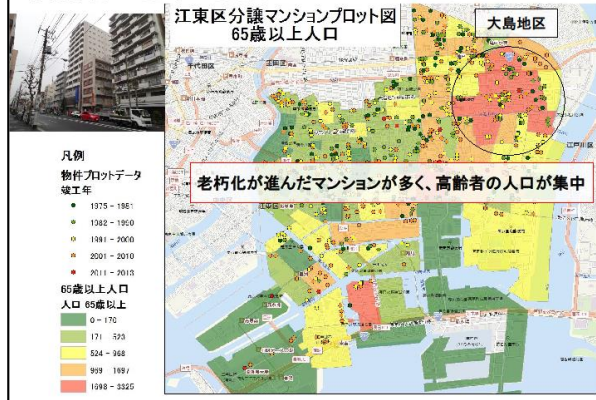


研究領域：建築構法 建築計画 建築設計

キーワード：低炭素社会 サステナブル 集合住宅 イノベーション

- 集合住宅における居住の質向上と持続可能性に関する研究
- 公共施設の再編と戦略的マネジメント手法の研究
- 木材の利用促進につながる建築構法、都市再生手法の研究



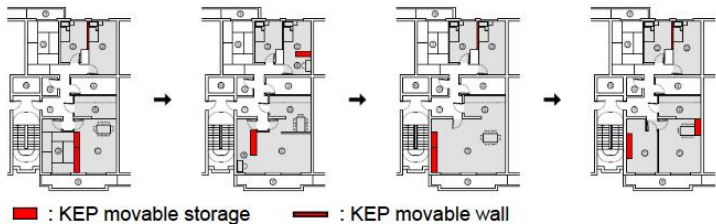
リフォーム工事の課題 コスト、工期、騒音



3次元スキャナーで測定した住宅の内装



間取り変更の履歴を調査 > 今後の計画に活用



間取り変更(A・Bタイプ)

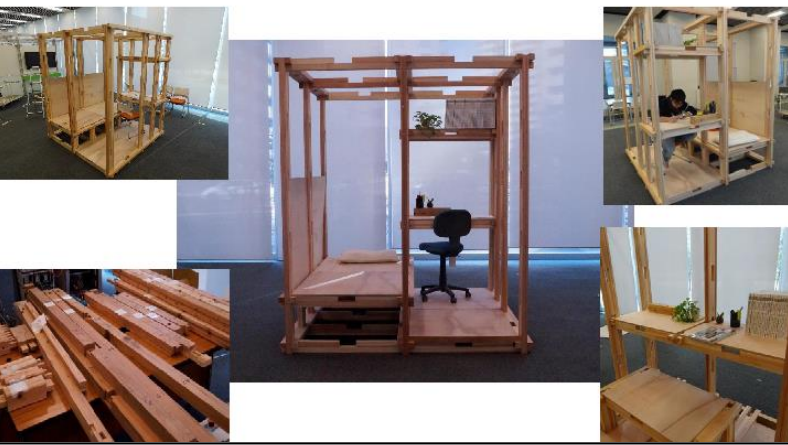
- 収納ユニット
・ 移設方法によって住戸プランに多様性を実現
・ 複数回移設する世帯が多い

KEP方式による間取り変更一居間拡大

タイプ	可変性	基本プラン	事例		
A3	収納ユニット (居間-洋室) 可動間仕切り (台所-多用室)				
			背中合わせにして二室を一体的に	アルコーブを確保し二室の大小調節	撤去・処分して居間拡大(和室も拡大)
B4	収納ユニット (居間-洋室) 可動間仕切り (北側洋室-洋室)				
			移設して二室を一体的に	壁側に移設して居間拡大	壁側に移設して開閉自在の扉を設置

木造インフィルの開発

熟練工が不足する中、高い技能を有さない職人や居住者自身がセルフビルドすることが可能な構法を開発。



木造インフィルユニットの開発

コスト削減(材料費3万円程度)、接続方法の単純化。居住者自身がセルフビルドすることが可能な構法を開発。

